

第 245 回 MINERVA ビジネスプラン発表会

【 令和 5 年 3 月 14 日(火) 開催 会場:YOXO BOX 】

1. 株式会社 AiCAN 代表者 高岡 昂太 氏 (<https://www.aican-inc.com/>)

【住所】神奈川県川崎市高津区坂戸 3-2-1 かながわサイエンスパーク イノベーションセンター西棟 713A 号室
【設立】2020 年 3 月【資本金】6,150 千円

【事業概要】国立研究開発法人産業技術総合研究所からの技術移転を受けた「産総研発ベンチャー」として、児童虐待対応支援システム「AiCAN」を開発。2020 年 7 月より三重県内の 6 児童相談所に導入。現場経験のある臨床心理士等の専門職や、児童福祉分野の調査研究を手がけてきたデータサイエンティストで構成され、現場知見に精通している点が特徴で、システムの開発・運用保守にとどまらず、アプリの活用支援や研修、業務改善のサポートも含めたワンストップの伴走型業務支援サービスを提供している。2023 年 2 月、かながわビジネスオー디션にて神奈川県知事賞受賞。現在 2 自治体で実証実験を実施中で、今後は市区町村や関係機関(警察、医療機関、学校、幼稚園・保育園、NPO 等)への導入を予定。

【コメント】高岡社長は、犯罪を起こした子供たちが自分と同年代であったこと、そして彼らのほとんどが幼少期に虐待を受けたことがあることを知り、問題意識を持たれたそうです。現在、増え続ける虐待相談件数と調査自体が困難で、属人的な対応になってしまうやり方を重篤な事例を見逃すことなく、必要なタイミングで適切な対応が出来るという想いでこのシステムを考案されました。“すべての子どもたちが安全な世界に変える”というビジョンを実現するために、各自治体や関係領域の企業様へのご紹介をお願いしたいそうです。



2. 株式会社エム・ティー・スリー 代表者 宮崎 年恭 氏 (<https://www.mt3.co.jp/>)

【住所】東京都港区芝浦 3-20-2 山楽ビル 5 階【設立】2017 年 10 月【資本金】180,000 千円

【事業概要】海洋生物由来の『レプリチン』は、がん組織内の酸素濃度を上げることによって、がん治療の『酸素効果』を増強する物質であり、放射線治療の増感剤および抗がん剤の増強剤として事業化を進めています。当社では、レプリチンの人工合成・大量製造の技術を開発し、医薬品 GMP 品質で製造、動物用医薬品としての治験および薬事申請を完了させ、現在、ヒトを対象とした治験を開始することを計画しています。

【コメント】同社では、世界初の『がん治療法』を開発・提供することで、①副作用がなく、苦しくない治療、②痛みがなく、QOL を維持する治療、③治せなかった『がん』を治す治療を目指しております。このレプリチンという物質は、海洋生物のウニやスギノリに多く含まれており、体に対する毒性が無く、副作用がないことも分かりました。しかし大量生産が出来ず、品質も一定しないので、同社で人工合成と大量生産が出来るようにしました。



3. スリースターズ株式会社 代表者 亀井 邦裕 氏

【住所】神奈川県横浜市港北区大豆戸 1139 アルテール新横浜 106 号【設立】2016 年 2 月
【資本金】1,000 千円

【事業概要】・当社代表は大手 IT ベンダのシステムエンジニアとして中堅から大企業に至るまで数多くの企業顧客さまに IT システムを提供し、企業内 IT システムに精通しているのみならず、2005 年頃より IT システムを素早く安く高品質に開発するモデルベース再利用開発に取り組んできました。

・2016 年起業後は IT コーディネータ資格/OMG UML プロフェッショナル資格を生かした IT 経営コンサル/モデルベースの情報システム要求定義・設計・導入支援を実施、クラウドベースサービスアーキテクチャのデザインサービスの構築を経験するなど今回の新規事業立上の準備を行ってきました。

・現在、我が国の IT システムは DX レポート(2018)に書かれているような今肥大化し、老朽化した IT システムが膨大に存在し、“2025 年の崖に向かって一直線に進んでいます。その少しでも回避にむけ、一つの代替案と考えるクラウドベースサービスアーキテクチャによる部品モジュール再利用・モデルベース開発のプラットフォーム ROWSE(仮)を提供します。これを利用した IT システムの設計・開発導入事業に本格参入いたします。まずは大手 IT ベンダ時代からの担当分野である中堅製造業(年間売り上げ 100 億から 500 億)へのシステム導入を目指します。

【コメント】製造業(食品関連含め)や物流業において、コンピュータによるデータ管理は標準化されておらず、各社のノウハウ・秘密や、システム開発当時、少数エンジニアによりそれぞれ開発されたため、各々独自の管理システムとなってきたのが実情なようです。開発当時想定されていなかった新たなビジネス情報を得ようとするシステム見直しが必要です。膨大な現行システム全体を再構築するのは現実的ではありません。そこでネックとなるデータ管理や各データ処理ルールを中心にモジュール化し、それらにより収集されるビッグデータを UI、プロセス、更にデザイン(ビジネスルール、AI による予測、最適化モデル)に分けて、処理・管理し、各現場で活用できる情報を取り出せるようにシステムを作り上げたそうです。



【感想】今回の発表会は、マスクの着用が緩和されてからすぐの開催でした。会場はほぼ満席の状態、発表会後の名刺交換会においては盛んな名刺交換が行われておりました。

最近では、発表会でのご発表をご希望される企業が多数いらっしゃいますので、もし発表をご希望とされる方がおられましたら、お早目にご連絡を頂きますと幸いです。

☆☆☆☆ 今後の活動予定 ☆☆☆☆

第 246 回 MINERVA ビジネスプラン発表会

■日 時:令和 5 年 4 月 11 日(火) 13:30~15:00
(会場参加のみ 15:00~名刺交換会)

■会 場:YOXO BOX(よくぞボックス)

NPO 法人ベンチャー支援機構 MINERVA
(株)TNP パートナース、(株)TNP オンザロード
(株)TNP スレッズオブライト
井 汲 美 樹